



新入職員を対象とする入職後3ヶ月のリフレッシュ研修を行いました。参加者は4月に井口会に入職した新卒者5名で、「木工房」もものたねにて木工体験を行い、スマホスタンドや、スプーン、鍋敷などの世界にひとつだけの作品を完成させました。指導を受けながら集中して作業しつつ、同期と近況を話しながら楽しい時間を過ごすことで、リフレッシュできたようです。その後、3ヶ月間を振り返り、今後の目標や取り組みたいことなどを発表。これからも一緒にがんばっていこうと同期の絆を深めました。

TOPICS 1 リフレッシュ研修 を行いました

TOPICS 2 真庭高校 就職説明会に 参加しました



8月26日（火）真庭高校の就職説明会に参加しました。市内の医療機関や市役所などの施設が、それぞれの魅力や特色を紹介し、地元での就職を積極的呼びかけました。熱心に質問する姿や真剣な表情から、看護師・助産師・保健師を目指す学生の成長が感じられました。今後も看護学生の夢を後押しし、安心して就職活動に取り組めるよう支援してまいります。



第35回岡山県病院協会主催病院職員バレーボール大会が、9月21日（日）川崎学園総合体育館で開催されました。この大会は、病院職員の健康増進をはかることも、バレーボールを通じて職場の空気を明るくし、大会により病院間の親睦をはかることを目的に開催されています。落合病院チームは、神原病院チーム・岡山西大寺病院チームと対戦し惜敗、惜しくも決勝トーナメントには進めませんでした。練習の成果を発揮してチーム一丸となり、楽しくプレーすることができました。来年も県大会出場を目指し、日々の練習に励んでいきたいと思ひます。

TOPICS 3 バレーボール部 が県大会に 出場しました

TOPICS 4 医療連携の会を 開催しました



9月11日（木）真庭あぐりガーデンにて、第10回落合病院医療連携の会を開催しました。これは、近隣の医療機関の皆様が当院について知っていただき、医療従事者らと意見を交わして、さらなる連携強化をはかるために実施しているものです。今回、市内から11医療機関の先生方やスタッフの皆様にご参加いただき、当院の取り組みのご紹介や意見交換を行いました。日頃の連携についての意見や要望などもお聞きがし、交流を深めることができました。今後も地域の先生方と連携を深め、地域医療に貢献してまいります。

インフルエンザ 予防接種のご案内

成人 ※高校生以上

〈集団接種〉

11/2(日)・16(日)

11/30(日)

小児 ※6ヶ月以上中学生以下

毎週水曜日の午後

11月から12月まで

予約制となりますので、ご予約をお願いいたします。

落合病院ニュース

病院で働く人たち

病院で働くには、どんな資格が必要か？ また仕事の内容や特徴などをシリーズでご紹介します。第2回目は「助産師」です。

助産師とは

厚生労働大臣の免許を受けて、妊産婦への保健指導、助産、産後の母子のケア、新生児の保健指導を行います。そのほか、女性の生涯を通じた健康問題（思春期・不妊・更年期など）に対しても支援します。自分で助産所を開業することもできます。

助産師になるには

看護系大学院2年
看護大学専攻科・別科1年
看護大学4年
看護短期大学専攻科1年
助産師養成所1年



助産師
国家試験



助産師

落合病院で働く 助産師のご紹介



助産師は英語で「Midwife(ミッドワイフ)」と言います。Midは「～共に」「間にいる」、wifeは「女性」を表し、女性と共にいる人、女性の傍に寄り添う存在という意味になります。助産師の仕事を知っていますか？ 妊娠から産後までの母子健康指導や分娩助産、新生児の健康診査や育児相談など、出産をめぐる援助する人というイメージが強いかもしれませんが、**思春期における性の相談や更年期の相談といった女性のライフステージ全体にわたる健康支援**を行うことも助産師の役割となっています。

落合病院では、出産に携わるだけでなく、助産師外来やマタニティクラス、産後2週間健診や母乳相談、宿泊型の産後ケアを行っています。また、近隣の学校から要望があれば、中高生に向けた性教育を行っています。近年、核家族化の増加などによって、十分なサポートが受けられず、育児の孤立化が進み、産後うつを発症するケースが増えています。助産師のやりがいのひとつに、妊産婦の皆様が笑顔で安心して妊娠や出産、育児を行えることが挙げられます。悩みに寄り添い、信頼関係を育み、心強い女性の伴走者として、今後もサポートさせていただきます。

落合病院で働く助産師へ質問してみました

Q1 助産師になろうと思った きっかけは何ですか？

- 学生時代の実習で、産婦に寄り添う助産師のあきらめない姿勢や、優しく勇気づける声かけ、分娩助産の姿をみて憧れた。
- 学生の時に担当した産婦さんが懸命に産むと向き合う姿に勇気づけられた。女性に寄り添う仕事を一生のものにしたいと思った。

Q2 助産師になって良かった と思うことは？

- 分娩時や退院時に「あなたに対応してもらえて良かった」と言われたとき。
- 「満足いくお産ができました」と言ってもらえたとき。
- 退院後成長した赤ちゃん、ご家族に会えたとき。

Q4 落合病院に就職して 良かったことは？

- 妊娠期から産後まで、切れ目のない支援を大切にできた経験ができること。
- 一人ひとりをお互いに認め合っている雰囲気。
- 子育てしながら自分に合った勤務体系で働けること。

Q3 目指す助産師像

- 私たちのかわりやその思い出が不安や重荷を軽くすることができるような存在になれたら最高。
- 何でも相談できる、相談したいと思ってもらえるような人になりたい。

Q5 ストレス 発散方法は？

- 旅行
- お笑いライブに行く
- 推し活
- おいしいものを食べる
- ツムツムをする！

